

茨城町第2次環境基本計画

自然を愛し 人も生きものも
安らげるまち いばらき

令和5年3月

はじめに

茨城町は、涸沼に注ぐ涸沼川・涸沼前川・寛政川が中央部を流れ、その流域に肥沃な土地が広がる、水と緑の豊かな自然に恵まれた田園都市です。この美しい自然を守り、環境保全に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、本町では、平成 25 年に茨城町環境基本計画を策定し、様々な施策に取り組んでまいりました。



特に、本町のシンボルであり、希少な水鳥やヒヌマイトトンボなどの絶滅危惧種をはじめとした多様な生態系が育まれている涸沼は、多くの動植物の生息地としての重要性が国際的に認められ、平成 27 年 5 月、ラムサール条約登録湿地となりました。本町では、私たちに恵みをもたらす涸沼の保全と賢明な利用を図るため、町民や団体、事業者と協働し、涸沼に関する環境教育や環境保全活動について積極的に取り組んでいます。

しかしながら、近年、私たちを取り巻く環境は変化しており、地球温暖化が一因とされる気候変動や、生物多様性の危機、海洋プラスチックごみ問題等、世界的に深刻な環境問題が顕在化しています。

なかでも、喫緊の課題である地球温暖化については、パリ協定の採択により、2020 年以降の温室効果ガス排出削減等のための新たな国際的枠組みが示されるなど、地球規模で課題の解決に取り組んでいる状況です。わが国では、カーボンニュートラル宣言により、脱炭素社会の実現に向けた動きが活発化しており、本町においても、令和 2 年 7 月に「ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、2050 年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指しています。

このような社会情勢の変化を踏まえ、本町では、「茨城町第 2 次環境基本計画」を策定いたしました。本計画は、国際社会の共通の目標である SDGs（持続可能な開発目標）と各施策を関連付け、涸沼をはじめとした自然環境の保全、快適で安全な暮らしの維持発展のほか、ゼロカーボンシティの実現に向けた再生可能エネルギーの利活用や気候変動適応策などを推進するものです。

本計画において目指す環境将来像として掲げている「自然を愛し 人も生きものも安らげるまち いばらき」を実現するためには、行政だけでなく、町民や団体、事業者が一体となって取り組むことが重要です。今後も引き続き、良好な環境の保全と創造に向けて様々な施策を進めてまいりますので、皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり、多大なご尽力を賜りました茨城町環境審議会委員の皆様、並びに茨城町環境基本計画策定支援アドバイザーの皆様をはじめ、貴重なご意見をお寄せいただきました町民や団体、事業者の皆様にご心より感謝を申し上げます。

令和 5 年 3 月

茨城町長 小林 宣夫

目次

第1章 茨城町環境基本計画の基本的事項	1
1 計画策定の背景	1
2 計画の位置づけと役割	2
3 計画の対象範囲と分野構成	3
4 計画の期間	3
5 計画の構成	4
6 計画の推進主体	5
第2章 茨城町の環境のいま	6
1 地域概況	6
1-1 人口と世帯	6
1-2 土地利用	6
1-3 産業	6
1-4 交通	7
1-5 地勢・地質	8
1-6 水象	9
2 自然・やすらぎ	10
2-1 生物多様性	10
2-2 歴史的・文化的環境	27
2-3 人と自然	41
3 快適・安全	47
3-1 空気と静けさ	47
3-2 水の清らかさ	49
3-3 安全・安心な暮らし	59
4 脱炭素・エネルギー	63
4-1 廃棄物とリサイクル	63
4-2 廃棄物の適正処理	66
4-3 地球温暖化(気候変動)	71
5 環境に対する町民・事業者の意識(アンケート調査結果)	77
5-1 町民の環境意識	77
5-2 子どもたちの環境意識	86
5-3 事業者の環境意識	96

第3章 計画の目標と施策体系	105
1 本町の望ましい環境将来像	105
2 基本目標	106
3 環境施策の体系	108
第4章 環境施策と町・町民・事業者の取組	110
1 自然・やすらぎ	111
1-1 生物多様性の保全	112
1-2 人と自然との共生	115
1-3 歴史と文化の保全	117
1-4 協働	119
2 快適・安全	122
2-1 きれいな空気と静かな環境の確保	123
2-2 清らかな水の確保	125
2-3 安全・安心な暮らしの確保	129
2-4 協働	131
3 脱炭素・エネルギー	133
3-1 5Rの推進	134
3-2 環境美化の推進	138
3-3 脱炭素に向けた計画の推進	140
3-4 協働	142
第5章 茨城町地球温暖化対策実行計画	145
1 茨城町地球温暖化対策実行計画策定の背景	145
2 地球温暖化対策に関する動向	145
2-1 国際的な動向	145
2-2 国内の動向	146
2-3 町内の動向	146
3 実行計画の基本的事項	147
3-1 計画の目的と位置付け	147
3-2 基準年度及び目標年度	147
3-3 対象ガス	147
4 茨城町の地球温暖化問題の現況	149
4-1 二酸化炭素排出量	149

4-2 部門別排出元の現況	149
5 二酸化炭素の削減目標	150
5-1 二酸化炭素排出量削減目標	150
5-2 二酸化炭素排出量 2030 年現状すう勢	152
6 施策体系	153
7 町・町民・事業者の取組の推進	154
第6章 茨城町地域気候変動適応計画	165
1 茨城町地域気候変動適応計画策定の背景と目的	165
1-1 計画策定の背景	165
1-2 計画策定の目的	166
1-3 上位計画及び関連計画との位置づけ	166
1-4 計画期間	166
1-5 気候変動と SDGs	166
2 気候変動の現状・予測	167
2-1 これまでの茨城町近郊の気候の変化	167
2-2 将来の茨城県の気候・気象の変化	168
3 適応に関する基本的な考え方	170
3-1 国や県の影響評価結果	170
3-2 茨城町で対策を進めるべき分野の整理	171
4 将来の気候変動影響と主な対策について	172
4-1 農業・林業・水産業	172
4-2 水環境	183
4-3 自然生態系	186
4-4 自然災害	194
4-5 健康	198
4-6 国民生活・都市生活	202
第7章 計画の推進体制及び進行管理	203
1 計画の推進体制	203
2 計画の進行管理	205

資料編

資料 1	茨城町環境基本条例	資-1
資料 2	茨城町環境審議会条例	資-3
資料 3	茨城町環境基本計画策定支援アドバイザー会議設置要綱	資-4
資料 4	計画策定の経過	資-5
資料 5	茨城町環境審議会委員名簿	資-6
資料 6	茨城町環境基本計画策定支援アドバイザー会議委員名簿	資-7
資料 7	用語解説	資-8

注：掲載している表やグラフについて、基本データを端数処理して算出しているため、比率や算出値に差が生じる場合があります。